

様式第3号（4条関係）

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和2年度 第1回 図書館協議会

2 開催日時

令和2年7月10日（金） 午後6時30分から午後7時45分まで

3 開催場所

松川町中央公民館 えみりあホール

4 出席者氏名

図書館協議会委員

坂本勇治委員、松井悦子委員、山寺政幸委員、鈴木隆史委員、

中平美紀委員（松田勝路委員代理）、田中ふじえ委員、木村佳稔委員、

宮下千波委員、林直子委員、宮澤武彦委員、大島江玲奈委員、中村尚子委員

事務局

高坂敏昭図書館長、塩倉智文生涯学習課長、吉野愛那主査

5 議題（公開又は非公開の別）

(1) 令和元年度 統計報告について

(2) 令和2年度 事業計画について

6 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

7 傍聴人の人数

0人

8 会議資料の名称

- ・ 図書館協議会次第
- ・ 図書館協議会委員名簿・職員および図書部員名簿
- ・ 令和元年度 松川町図書館統計 4種
- ・ 令和2年度 事業計画

9 審議の概要

1 開会

2 図書館長挨拶

3 協議会長・職務代理者選出

協議会長：田中ふじえ委員

職務代理：坂本勇治委員

4 協議会長挨拶

5 協議事項（会議内容）

【説明】

(1) 令和元年度 統計報告について

資料「令和元年度 松川町図書館統計 4種」に基づき、事務局より説明。

(2) 令和2年度 事業計画について

資料「令和2年度 事業計画」に基づき、事務局より説明。

【質疑】

(1) 令和元年度 統計報告について

(委員)

- ・70代以上の利用が増えたとのことだが、その理由など考えられることはあるか。時代劇が好きなど、利用資料の傾向はあるか。

(事務局)

- ・大活字本や高齢者向けの本を集めたコーナー作りなどを充実させるようにしている。時代劇小説や昔の芸能人が書いた本なども人気がある。

(委員)

- ・引き続き利用者の要望を聞くように努めてほしい。

(委員)

- ・利用者の年代別の円グラフが、年齢の切り取り方が10年ごとだったり何10年ごとだったりと違うのはどう読み取れば良いのか。人口割で作ったほうが良いのではないか。

(事務局)

- ・本によって年齢別で分けたりということもあるため、このグラフの見方も大事にしている。人口割など他の統計の取り方も検討していきたい。

(委員)

- ・小さいころから読む習慣があるとずっと利用してくれる。高齢で運転ができなくても、タクシーで図書館に来る方や周りの人の助けを借りたり、よみまいカーでの団体貸出などを利用してくれる方もいる。バトンをつなげられるようにしてほしい。

- ・偏らずいろいろな本を入れてほしい。

- ・図書館は清潔で明るいイメージがある。以前自分の子どもが本を探していた時、職員が丁寧に教えてくれたことがある。よみまいカーの稼働回数が平成26年度から減ったことが気になる。子どもは工作などのイベントが楽しみで図書館を利用したりする。引き続きより多くの利用者に楽しみを与えられるように努めてほしい。

- ・中央小の隣にあるため学校帰りにいつも寄っていたのが、中学生になると寄らなくなる。中高生になっても借りてもらえるようになると良いと思う。
- ・利用者の年齢別の円グラフで、7～12歳の小学生は6学年、13～15歳の中学生は3学年で、それぞれの利用者数を学年数でわると、各年齢の利用者数は中学生になると5分の1になることがわかる。中学生になっても利用してもらうには、小さい頃から本に親しむことが大切ではないか。また、こういった数字も大事だが、例えばアンケートを取るなど、図書館の大切さが掘り起こせるような、利用冊数などの数字だけではない指標も必要ではないか。
- ・自分の小学生の孫は、図書館をよく利用するが、自分の好きな本の傾向が出てきている。もっと良い本を読んでほしいと思うが、本を読んで面白いと思えることも大事かと思う。催し物もたくさん宣伝して多くの方に参加してもらえると良い。
- ・大活字本に自分の好きなジャンルのものがあまりない。また、前に利用した際、ちょうどスリッパの入れ替えのタイミングだったのか、スリッパがなかった。スリッパがないなら、上履き持参の案内をしてほしい。
- ・家族で利用してもらえるように努めてもらいたい。
- ・自分の子どものうち、娘はたくさん借りていたが、息子はあまり借りていなかった。利用者の年齢別グラフは男女別ではなかったが、女性のほうが利用が多いのかもしれない。なので家族で使ってもらえると良いと思う。

(2) 令和2年度 事業計画について

(委員)

- ・電子書籍を近い将来入れてもらいたい。中高生は電子書籍があると、利用が増えるのではないか。
- ・学生は学校図書館も利用しているので、あまりグラフの利用者数を気にしなくてもいいのではないか。学校図書館も行って、町図書館も来てというのはそんなにしないのではないか。
- ・中学生は部活が減ってからの変化もみられるのではないか。

(事務局)

- ・小学生で学校図書館と公共図書館の両方の利用者は多いが、中学生になると減る。しかし、いろんな年齢の方に利用していただきたいので、中高生にも利用してもらえるように考えていきたい。また、町内の小中学校図書館の統計を取り寄せて、利用状況を分析してみたい。ちなみに中央小は、平均貸出冊数がひとり100冊を超えている。

※参考資料 令和元年度 町内各学校図書館利用統計

中央小	全校生徒 529 人	年間貸出冊数 53,271 冊	平均貸出冊数 100.7 冊
北小	全校生徒 128 人	年間貸出冊数 14,080 冊	平均貸出冊数 122 冊
中学校	全校生徒 358 人	年間貸出冊数 7,810 冊	平均貸出冊数 21.8 冊

(委員)

- ・お正月の本の福袋事業の利用はあるのか。

(事務局)

- ・5年ほど前から行っていて、対象年齢別に60袋用意しているが、毎年全部借りられている。

(委員)

- ・おりがみ教室は参加してみたいと思っているが、時間が合わなくて参加できなかったことがない。
多くの人が参加できるように行事もおこなってほしい。

(事務局)

- ・毎週おこなっていた金曜おはなし会は再開が最後になってしまったが、おりがみ教室はできるのではないかとということで再開している。行事については、密にならないように工夫して再開していくように努めていきたい。

5 閉会